



く ん せ ん  
**薫 泉**

学校の目標  
 社会の変化に自ら対応でき、豊かな心を持ち、表現力豊かな国際人を目指し、次のような子どもを育成する。  
 ・よく考え、進んで学習する子ども  
 ・いつも元気で、しようぶな子ども  
 ・こころ豊かで、やさしい子ども

ピンチをチャンスにできるように

校長 井上光広

令和二年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、かつてない学校状況の中でのスタートとなりました。そのような中でも、希望にあふれる八十六名の新入生を迎え、全校児童四百九十四名、十六名級の学習を進めていくことになりました。本校の教育目標である「よ・い・こ」の集まりです。どのような状況であっても笑顔の花咲く矢口小学校でありたいと願っております。

大変残念に感じますが、大田区全小中学校は、三月の臨時休校に引き続いて、五月六日（水）まで臨時休校となりました。また、本校としては五月三十日（土）に予定しておりました運動会も、十月三日（土）に延期することになりました。このように今年度は、年度の途中での大きな予定変更も想定しておかなくてはなりません。ピンチをチャンスにできるように、できるだけ早めの判断をしていくつもりですので、ご理解いただけますようお願いいたします。

さて、今年度の本校の教育活動の柱として考えていることを二点お伝えします。

一 体力の向上と健康の増進  
 昨年度一年間を通して、私が本校児童の課題として感じたことが、体力の向上でした。体力調査では、低学年段階での数値が全国や東京都の平均値を大きく下回るという結果が出ています。この数値が高学年に進むにしたがって平均値を上回っていく改善傾向にはあり、本校の体育教育の成果

は出ていると判断できます。

これをさらに計画的に実践研究をしていくことで、児童の生活習慣の中に、生涯にわたって運動に親しむ態度を養い、体力の向上と、病気にも負けない健康の増進をしていくことができればと思っております。

二 コミュニケーション能力の向上

本校の教員の授業研究では、新学習指導要領にも重点的に取り上げられている「伝え合う力」を高めるためには何が必要だろうかと探ってまいりました。昨年度は伝える側の発信力をいかに高め、児童同士のコミュニケーションを通して学習内容を深めていくということに視点を当てました。その結果として、本校の児童の本当の課題は、伝えるということよりも、受け止める側の聞き取る力や情報解釈力などなのではないだろうか、さらには、我々教員や保護者といった、児童を取り巻く大人の児童の思いを「受け止める」周辺環境が、大きな影響を与えているのではないだろうかということが浮かび上がってきました。これを受けて、今年度はすべての授業を通して、「人の考えを受け止める、よく理解する」という力を伸ばしていきたいと考えています。ご家庭での協力もぜひお願いいたします。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

学校からの緊急連絡は学校緊急連絡システム（緊急連絡メール）を利用して行っています。

臨時の児童引き渡しや学級閉鎖のお知らせ、行事実施の可否に関わるお知らせなど、全校一斉にお知らせすべき内容を配信します。特別な場合を除き電話連絡による緊急連絡はいたしませんので、

◎ 全員の登録をよろしくお願いいたします。

【新型コロナウイルス感染症防止対策関連】

※新型コロナウイルス感染症防止対応のため、四月六日（月）から五月六日（水）は臨時休校となります。

※「分散登校」「午後の校庭提供」を予定していましたが、四月十日（金）までは中止とします。その後の予定については、大田区教育委員会との連携の下、対応してまいります。

※四月十八日（土）に予定しておりました保護者会も中止ということになります。学校再開後にあらためて予定をさせていただきます。

※四月三十日（木）から行う予定していました個人面談も延期とさせていただきます。

※四～五月に予定しておりました校医の先生方による健康診断は延期となりました。

※東京オリピック・パラリンピックが来年に延期になりましたので、夏季休業日中に予定しておりました水泳関連の観戦については中止になります。

その他、様々な取組や提出物等を予定していましたが、日々刻々と状況が変わっておりますので、そのたびに情報発信していきます。「緊急メール」と「学校サイト」の情報を確実に見ていただけますようお願いいたします。